



豊築森林組合

2009 No.5

# 木 木 木 [もり] 木 木 木 だより

発行/豊築森林組合  
企画・編集/広報委員



# ●組合の状況●

単位:人、円

組合員と出資金	組合員数	出資金額
	3,187	50,465,000

地区別組合員数	地区	豊前地区	築城地区	椎田地区	上毛地区
	組合員数	1,036	715	620	816



## ◆平成20年度貸借対照表◆

平成21年3月31日現在(単位:円)

資産の部		負債及び資本の部	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>		<b>流動負債</b>	
現金・預金	188,013,844	買掛金	2,696,906
受取手形	350,345	未払金	105,537,937
売掛金	36,881,443	未払法人税	3,507,900
棚卸資産	22,285,217	預り金	26,424,940
未収金	220,967,229	受託販売預り金	9,408,808
立替金	5,116,481	出資預り金	1,889,243
差入保証金	150,524	仮受金	140,760
仮払金	925,000	流動負債合計	149,606,494
流動資産合計	474,690,083	<b>固定負債</b>	
<b>固定資産</b>		長期借入金	300,000
有形固定資産	68,170,985	賞与引当金	5,447,878
無形固定資産	374,950	退職給付引当金	150,368,000
外部出資	13,549,956	森林担保借入金	1,400,000
長期貸付金	1,390,256	固定負債合計	157,515,878
リサイクル預託金	134,025	負債合計	307,122,372
繰延資産	1,764,750	<b>資本の部</b>	
固定資産合計	85,384,922	出資金	50,465,000
資産合計	560,075,005	法定準備金	59,386,195
		任意積立金	130,756,987
		資本準備金	740,192
		当期剰余金	11,604,259
		資本合計	252,952,633
		負債資本合計	560,075,005



# 第8回通常総代会開催



議長の平野力範総代



挨拶する大山組合長

- 【第1号議案】平成20年度事業報告の件
- 【第2号議案】平成21年度事業計画の件
- 【第3号議案】役員報酬の件
- 【第4号議案】平成21年度借入金最高限度の件
- 【第5号議案】一組合員に対する貸付金最高限度額の件
- 【第6号議案】余裕金預入先の件
- 【第7号議案】定款変更について

## 《役員永年勤続表彰者》

氏名	役員在任期間	通算年数
高橋 晋	昭和44年5月～平成20年5月	27年
神崎 光昭	昭和62年5月～平成20年5月	21年
白川 信隆	平成 4年5月～平成20年5月	16年
平野 良員	平成 4年5月～平成20年5月	16年
椋本 三男	平成 4年5月～平成20年5月	16年
佐藤 勝巳	平成 8年5月～平成20年5月	12年
竹内 義弘	平成11年5月～平成20年5月	9年

平成21年5月22日、豊前市役所大会議室において、総代148名出席のもと第8回の総代会が開催されました。

大山組合長より平成20年度の報告が行なわれ、引き続き来賓の後藤県議、釜井豊前市長の祝辞を戴いた後、築上町の平野力範総代を議長に選出し、上記の議案の審議を行いました。提案された全議案は原案通り可決されました。また永年、森林組合運営にご尽力戴いた7名の旧役員さんに永年勤続表彰を贈呈しています。

# 総括

●運営の基本方針

昨春秋からの金融危機により、日本経済も世界同時不況に巻き込まれ、住宅着工戸数の激減等により木材価格は低下したまま、林業関係者にとって非常に厳しい状況となっていますが、役員一体となり健全経営を目指したい。

また、支所機能を充実することにより、団地施業の推進を行い、美しい森林づくりのための森林整備を推進します。

- ① 森林から生産される木材の有利な販売体制の確立。
- ② 生産コスト削減のため集約施業団地の形成。
- ③ 作業道の開設
- ④ 環境税による森林の整備
- ⑤ 地域材の需要拡大



# 西部支所

築城事務所 / ☎0930-54-0001  
 椎田事務所 / ☎0930-56-0433

## 体制が替わりました

- 【支所長】 山口 雅博
- 【次長】 神崎 史享
- 神松 謙二
- 松田 一秀

以上の4名になりました。

## 施業集約化団地の間伐進捗状況

地区	団地名	団地面積	実施面積	実施率
寒田	焼岩	38.16ha	29.44ha	77.1%
本庄	小川内	31.86ha	29.40ha	92.3%
真如寺	長谷・黒平	24.87ha	15.70ha	63.1%



## 今後の集約化推進予定

今後、左記の地区の間伐を推進予定です。どの地域も作業道の開設が必要不可欠だと思っております。各地区で座談会等を開催いたしますので皆様のご協力をお願いいたします。

地区	団地名	団地面積
寒田	床浪・猿尾	35.00ha
上本庄	平石	32.60ha
下本庄	立岩	29.53ha
真如寺	鳴根原	20.75ha
岩丸	樋ヶ迫	10.00ha

## 支所長からのコメント

4月より体制が替わり、職員は西部支所築城事務所勤務することになりました。椎田事務所には、女性職員はいますが、男性職員が少ない時が多々あると思いますが、旧椎田地区の組合員の皆様にはご迷惑をおかけしたり、不便に思われぬように職員一同心がけていきます。電話一本いただければ、自宅へうかがいますのでお気軽にどちらかの事務所へ連絡して下さい。



# 東部支所

事務所(本所内)  
 ☎0979-82-7529

## 本年度より支所体制が替わりました

- 【支所長】 宮元 隆弘
- 【次長】 為國 隆幸
- 【係長】 山口 弘史
- 峰 敏行
- 谷山 洸

以上の5名になりました。

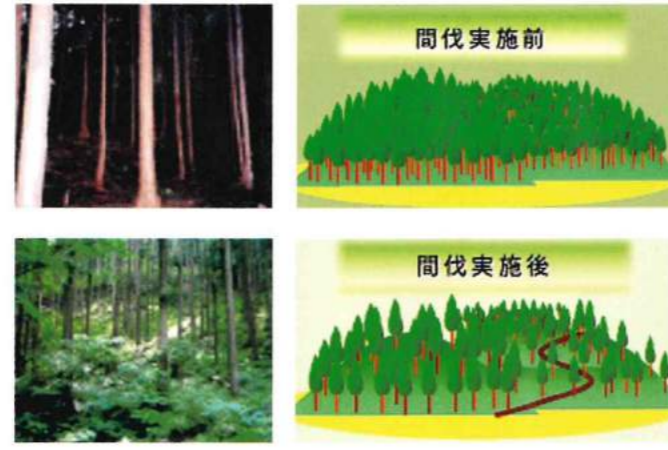
東部支所は、豊築森林組合本所内にあり、豊前市と上毛町の範囲を区域とし、活動しています。五人体制となり、より充実した組合員サービスを中心掛けています。お気軽に御利用していただきたいと思います。

## 東部支所管内(豊前市・上毛町)では、施業集約化団地内の搬出間伐を重点的に取り組みます。

※施業集約化とは、森林をとりまとめて事業を行うことで効率的に作業を行い、収益が上がりやすくなることです。

今年度の施業集約化団地は次の通りです

- 【豊前市】 枝川内団地  
川内団地  
求菩提団地
  - 【上毛町】 東上岩屋団地  
西友枝大門団地  
東下内の倉団地
- これらの地区以外の森林も随時作業を行います。

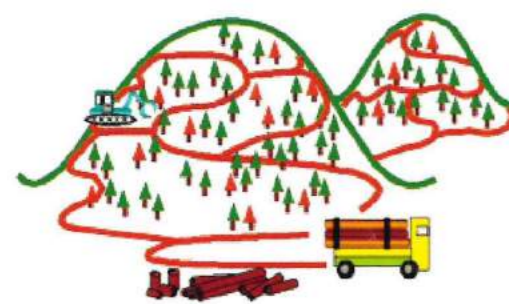


## 作業道計画について

森林施業を行ううえで欠かせない作業道の開設に積極的に取り組みます。3年以内の実施を予定している路線は次の通りです。

- 【豊前市】 枝川内向山線  
大河内高城線  
馬場湯の河内線
- 【上毛町】 柄ヶ迫線  
(東上森地区・上唐原枇杷迫)  
白ヶ谷線 (西友枝小川内・松尾)

今年度以降も施業集約化団地の設定及び整備を行っていきます。各地区で座談会等を開催しますので皆様のご協力をお願いいたします。



## 補助金の申請について

次の作業を行った場合は造林補助金の対象となります。個人で行った場合も対象となりますが、把握できない場合がありますのでぜひお知らせ下さい。

- 植林 1.00ha当り1500本以上
- 下刈 植栽当年から7年間
- 除伐 6年生～15年生まで  
下枝(約1.5m)打ち含む  
※下刈との併用は不可
- 枝打 枝打高3m～  
※枯枝が残っている場合は不可
- 切捨間伐 間伐率20%以上
- 搬出間伐
- 林内作業車道の開設

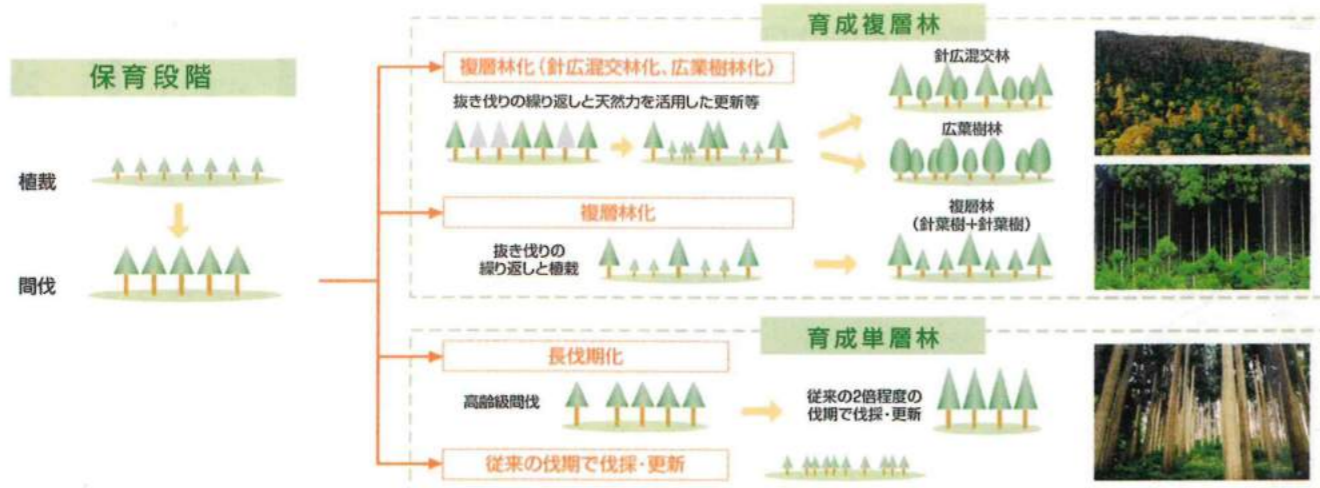
# 森林整備と保全 間伐などを通じた人工林の整備

森林への国民のニーズは多様化しており、国土の保全、水源のかん養、温暖化防止など多様なニーズに対応できる森林が求められています。

## 多様で健全な森林への誘導

平成18年9月に策定された新たな森林・林業基本計画では、高齢級の人工林が急増しつつある中で、若齢の人工林の間伐に加え、森林の多面的機能を持続的に発揮させつつ、多様化するニーズに応えるため、100年先を見通し、針広混交林化や広葉樹林化、長伐期化等の多様で健全な森林へ誘導していく方針を示し、こうした森林整備を進めていくこととしています。

するニーズに応えるため、100年先を見通し、針広混交林化や広葉樹林化、長伐期化等の多様で健全な森林へ誘導していく方針を示し、こうした森林整備を進めていくこととしています。

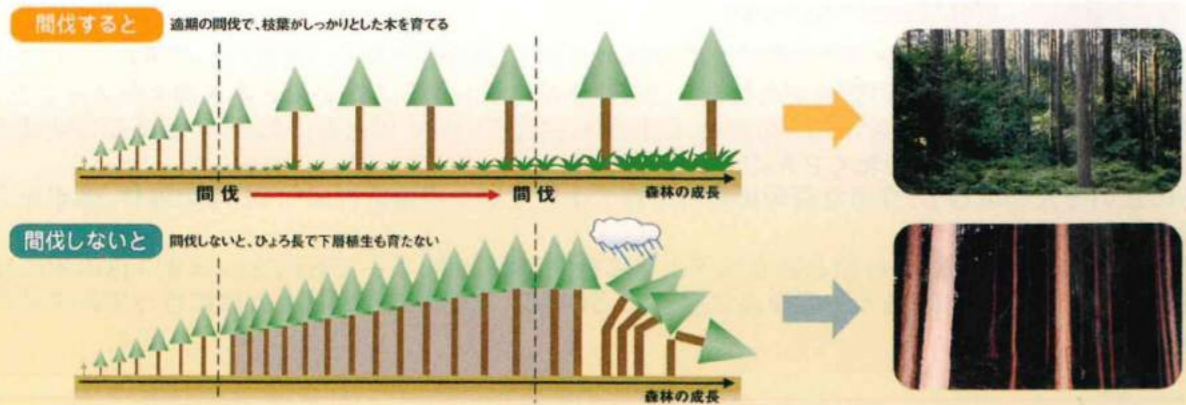


## 間伐は健全な森林をつくれます。

### 間伐の果たす重要な役割

スギやヒノキなどの人工林は、樹木の成長に応じて抜き伐りを行い森林の密度を調整する「間伐」が重要です。間伐を行うことにより、①残った樹木の成長や根の発達が促され風雪

害に強い森林となる、②林内に陽光が差し込むため、下層植生が繁茂して表土の流出を防ぐ、③多様な動植物の生息・生育が可能となり、種の多様性が向上する、④病虫害に対して抵抗力が高くなる、などといった効果が期待できます。



## 間伐の推進が急務となっています。

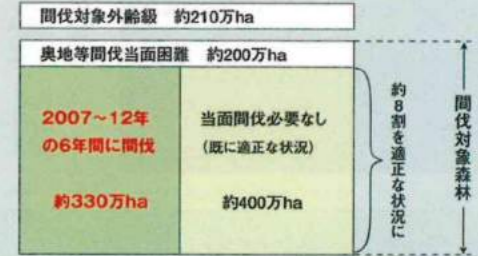
### 間伐等の目標

健全で多面的な機能を発揮する森林を育成するため、間伐の実施が必要です。特に、京都議定書に基づく森林吸収目標の達成を図る上で、平成19年度から平成24年度までの6年間に330万ha(年平均55万ha)の間伐の実施が必要です。このため、施業の集約化、路網・高性能林業機械の整備、間伐材の利用促進などに取り組んでいます。

### 目標

#### 1 毎年55万ha、330万haの間伐を推進

<育成林1140万haの状況>



#### 2 更に、100年先を見据え長伐期化、針広混交林化、広葉樹林化等多様な森林づくりを推進

資料:林野庁業務資料



## 適切な森林の整備には効率的な作業を可能とする林道等の路網が必要です。

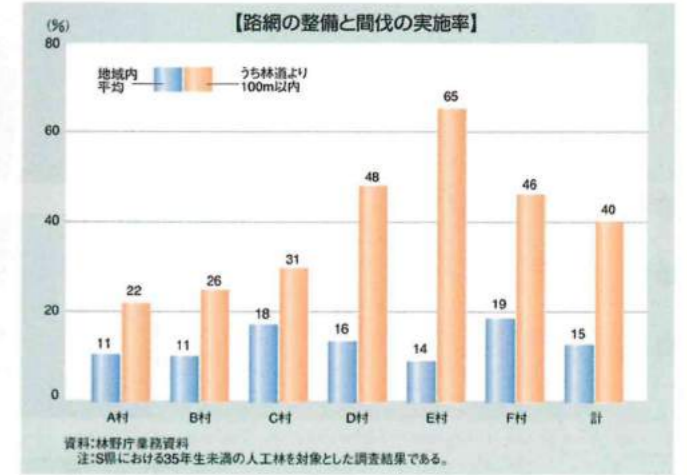
### 森林整備に不可欠な林内路網

適切に森林の整備や管理を行うためには、森林へのアプローチ、効率的な作業を可能にする林道等の路網整備が大変重要となります。このため、林道と作業道・作業路を組み合わせた林内路網の整備を進めています。また、林道は、森林を守り

育てる人々が山村で生活する上でも、重要な役割を果たしています。路網が整備され、林道からの距離が近くなるほど、間伐の実施率は向上しています。

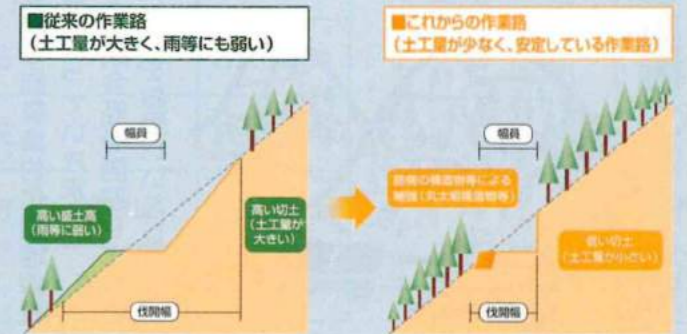


路網整備により、適正な間伐などの森林整備が可能になる



### Topics 簡易で耐久性のある作業路の取組み

森林の施業に直結する作業路において、全国画一ではなく各地の土質や気候などの地域条件に応じて工夫を施した構造・技術の確立が進められています。



## 森林組合機構改革について

当組合は、今年4月1日機構改革を行いました。

理由は、今までの森林組合事業は保育事業中心でしたが、森林の高齢化により間伐を主体とした林産事業が主力となるためです。

今後は、収入間伐事業を中心に林産事業を進め森林所有者へ木材販売代金の還元と環境に配慮した山づくりを行うこととあります。しかし、木材価格が低迷し森林・林業に無関心な森林所有者が多くなっている現在、森林組合の事業拡大を図るためには、組合がより積極的に林家へ働きかけること、そして事業をより効率的に進めることが必要になります。そのため組合では19年度より森林の団地化を図り作業道の開設や機械化林業に取り組みコストの削減を図っています。この様な事業をより積極的に進めるため機構の改革を行いました。組合員皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 組合員の皆さまへお願い(名義変更等について)

- 名義変更の手続きをされていない場合(相続加入)  
組合員が亡くなった場合は早急に名義変更の手続きをお願いします。  
尚、すでに組合員が亡くなっていて名義変更されていない方は早急に手続きを行なって下さい。
- 証券紛失の場合  
証券を紛失した方は出資証券紛失届及び出資証券再発行願を提出してください。  
※手続き等は本所並びに東部・西部(築城・桂田)支所で行っています。



### 組合の構成

- 本所●東部支所●〒828-0052  
豊前市大字塔田51  
TEL(0979)82-7529  
FAX(0979)82-7551
- 西部支所築城●〒829-0123  
築上郡築上町大字本庄2088-3  
TEL(0930)54-0001  
FAX(0930)54-0071
- 西部支所桂田●〒829-0301  
築上郡築上町大字桂田887-2  
TEL(0930)56-0433  
FAX(0930)56-5433
- 森の恵み工房●  
築上郡上毛町大字下唐原1666  
TEL(0979)72-1116  
FAX(0979)72-1116
- 製材工場●  
豊前市大字下河内79  
TEL(0979)88-2018  
FAX(0979)88-2018
- 小径木加工場●  
豊前市大字岩屋1099-1  
TEL(0979)88-3141  
FAX(0979)88-3142



## 全国水源林造林協議会会長賞受賞



当森林組合は平成二十一年五月十三日、東京で開催された全国水源林造林協議会連合会通常総会において永年にわたり水源林造成事業に尽力したと連合会会長賞(会长中谷元)を受賞しました。総会には尾家副組合長が出席し授賞式に臨みました。

## 編集後記

### ◎先進林業地紹介 岡山県西粟倉村

西粟倉村は人口1,600人ほどの源流域の小さな村です。広域合併でなく小さな村を選択した考え方は、地域には捨ててはいけぬものがあります。約50年前に子や子孫のためにと木を植えた人々の想い。苦労を重ねて地域を守ってきた先人のため、これから生きていく子供たちのため、そしてこの地域に愛着を持ち、関わってくださるたくさんの人々のため。

その想いを大切にして、立派な百年の森林に育て上げていく西粟倉村は「100年の森林」構想を立ち上げました。

最近の世相は、勝ち組、負け組と表されるように金儲けが上手、下手で評価される変な世の中になってきたように思われます。もう一度原点に戻って、50年前、先祖の方々が植えた山に行ってみてはどうでしょうか。